

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	36,994	38,314	39,388	人	-
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したもの（千葉県健康福祉部）※値はR2、R3、R4のもの	1.55(※)	1.56(※)	1.50(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思ふ市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	70.2	67.2	66.4	%	↑

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 子育てサポート体制の一環として「第2期子どもをみんなで育む計画」の改定に向けては、「こども基本法」（令和5年4月1日施行）を踏まえて、子どもや子育て当事者等の意見を幅広く聴取して反映させるための取組を進めました。また、児童虐待やDV防止対策等における相談体制の充実及び関係機関との連携強化に努めました。	・現状 令和7年度から令和11年度を計画期間とする「（仮称）流山市こども計画」は、「子ども・子育て支援事業計画」、「子ども・若者計画」及び「子どもの貧困対策計画」を一体的に作成します。
・評価 児童や保護者と接する機会がある機関の職員を対象にDVを含めた児童虐待に関する研修会を開催するなど関係機関との連携強化を図りました。子どもをみんなで育む計画を包含する「（仮称）流山市こども計画」の策定のために、こども・若者からの意見募集や流山市こども会議を開催しました。また、基礎調査として、こどもの生活状況に関する実態調査やこども・若者意識調査を実施し、こどもや子育て当事者等の意見聴取を行いました。	・課題 こどもや子育て当事者等から聴取した意見を計画に反映する方法について検討する必要があります。増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応するため、引き続き児童虐待に関する意識啓発や対応する職員の研修、関係機関との連携強化を図る必要があります。
・改善点 子育て世帯の増加などにより保育需要の増加が見込まれましたので、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ないサポート環境の充実と、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりに取り組まれました。また、増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守ると共に、家庭のニーズに即した支援の提供に努めました。	・取組内容 ニーズ調査や、ヒアリング、こどもワークショップ等を実施し、こどもや子育て当事者等の意見を取り入れながら、計画の策定に取り組んでいきます。また、こども家庭センター設置に向けて検討を進めます。

子どもを産み育てやすい環境づくり

地域子育て支援センター事業費補助事業	市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。令和6年度には、市内2箇所において必要とされる地域において、地域子育て支援拠点を新設します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	子ども家庭課	0		143,914		2,116	124,952	89,609	35,343
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	地域子育て支援センターの施設数(箇所)	11	11	13	職員に気兼ねなく相談ができ、子育てに必要なサポート体制があると回答した割合(%)		87.1	82.6	85.0
地域子育て支援センターの利用者数(人)	37,932	38,212	42,000						
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 毎月の業務報告書類や年間の実績報告書類等の適切な記入方法等について、個別に指導を行いました。				・現状 令和6年度については、引き続き市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。また市内2箇所において必要とされる地域において、地域子育て支援拠点を新設します。					
・評価 報告漏れについて、防止することが出来ました。				・課題 地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制の整備が必要となります。					
・課題に対する改善点 毎月の業務報告書類や年間の実績報告書類等の適切な記入方法等について、理解が進んでおらず、書類提出後の記載内容の訂正が数多くありましたが、研修時や事務連絡の際に指導を行ったことで、提出後の内容訂正が少なくなりました。				・取組 地域子育て支援拠点の実施状況の確認方法について、現地確認の実施を検討します。					

子どもを産み育てやすい環境づくり

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援及び育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大しています。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
子ども家庭課	19,090		18,545		3,526	19,145	11,800	7,345
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
ファミリー・サポート・センターの利用実績(件)	6,867	7,800	8,300	ファミリー・サポート・センターのマッチング件数(件)		236	301	320
ファミリー・サポート・センターの登録者数(人)	2,330	2,432	2,500					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 請求書の出し忘れ等を防止するために、窓口及びホームページにて周知しました。				・現状 令和6年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。				
・評価 窓口及びホームページにて周知したことで、利用者の申請漏れを防ぐことができました。				・課題 利用助成の請求については、利用後1年以内の請求としていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があります。				
・課題に対する改善点 利用料助成に係る請求書の出し忘れ防止について、窓口及びホームページにて周知を行ったところ、令和5年度については、請求期限を経過し利用料助成を受け取ることができない方は、確認されませんでした。				・取組 引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底します。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

子ども医療費助成事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、令和5年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生までから高校3年生までに拡充しています。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
子ども家庭課	1,086,956		1,374,159		7,052	1,142,902	386,004
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
子ども医療扶助の額(千円)	968,769	1,320,737	1,092,402	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じる者の割合(%)		65.2	57.4
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 保護者の経済的負担の軽減を図るため、令和5年4月診療分から、子ども医療費の助成対象を中学校3年生までから高校3年生までに拡充することについて、関係部署や関係機関との協議を行い、令和5年8月から対象を拡充した内容で適正に助成を行っていました。				・現状 令和5年4月診療分から対象年齢を高校3年生(18歳年度末)まで拡充し、子ども医療費の助成を行っています。			
・評価 システム改修などの流れを円滑に実施し、高校3年生(18歳年度末)までの対象者に対して、適正に助成を行うことができました。				・課題 転入、出生等で子ども医療費の申請受付を行っている市民課各出張所に対し、より深く制度について周知が必要です。			
・課題に対する改善点 新たに助成を開始する高校3年生(18歳年度末)までの対象者に対して、適正に助成するように自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保します。(※組織改編による事業見直しにより、令和5年度より単独の事業となりました。)				・取組 各出張所に対して、改めて制度の周知を図るため、さらにわかりやすい資料の作成を行うなど、制度の周知に努めます。			

子どもを産み育てやすい環境づくり

育児支援等サービス事業	親族等から産前産後のサポートが受けられない妊産婦を対象に、市が委託する事業者が行う12時間分の育児支援や家事支援を自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保します。(※組織改編による事業見直しにより、令和5年度より単独の事業となりました。)						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
健康増進課	6,190		5,608		7,052	6,580	2,541
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
申請者数(人)	278	270	300	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.40	93.44
延べ利用時間(時間)	1,470	1,696	1,850				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 母子健康手帳交付時の面談で全妊婦に対して事業を周知するとともに、親族等からのサポートが得られず不安を抱えている妊産婦に対しては、事前の申し込みを促し、必要時に速やかに本事業を利用できるよう案内しました。また、市からの支援が必要と思われる妊産婦がいた場合は、委託事業者と情報共有し、早期に介入できるように努めました。				・現状 親族等からサポートが得られず、産前産後の生活に不安を感じる妊産婦が昨年と変わらず一定数いる状況です。			
・評価 母子健康手帳交付時の面談のほか、電話相談や妊産婦訪問、妊娠7・8か月アンケートの面談等の機会を利用して本事業を案内し、申請や利用につなげることができました。委託事業者と情報共有等により、連携した支援を行うことができました。				・課題 支援を要する妊産婦の一因として親族等からの産前産後のサポート不足によるものがあり、個々の状況に応じた時期に必要な社会資源やサービス等の案内をする必要があります。			
・課題に対する改善点 妊娠早期から産後の生活に不安を抱く妊婦が増加しており、妊娠中から産後の生活の不安軽減に向けて個々の状況に応じた支援を行いました。				・取組 妊婦に対しては、母子健康手帳交付時の面談で事業を周知するとともに、電話相談や妊娠7・8か月アンケートにて親族等からのサポートが得られない方を把握した際には、事前の申し込みを促します。産婦に対しては、産後の訪問等でサポート不足の方を把握した際に本事業を再度案内し申請を促します。			

子どもを産み育てやすい環境づくり

子どもをみんなで育む計画推進事業	子どもをみんなで育む計画～流山市子ども・子育て支援総合計画～の策定された各種施策を推進し、本市における子ども子育て支援の一層の推進を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
子ども家庭課	8,408		2,033		14,104	6,833	1,500
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
こどもワークショップの開催数(回)	-	-	2				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組 ニーズ調査や子どもの生活実態調査と合わせて、子どもや若者の意見を聴取する仕組みづくりの構築に努めました。				・現状 (仮称)流山市こども計画の策定に当たり、こども・若者からの意見募集、流山市こども会議を開催し、意見を聴取しました。また、計画の基礎調査として、こどもの生活に関する実態調査やこども・若者意識調査を実施しています。			
・評価 こども・若者からの意見募集の実施、流山市こども会議の開催などを行い、こどもや若者の意見を聴取しました。				・課題 こども・若者から提案のあった意見等について、こども施策への反映方法を検討します。			
・課題に対する改善点 令和5年度は、(仮称)流山市こども計画の策定にあたり、こどもや若者から意見を聴くことが課題であり、流山市こども会議を開催することで、こどもや若者から直接意見を聴取することができました。				・取組 令和6年度は、ニーズ調査やこどもワークショップを実施し、こどもや若者、子育て当事者等の意見を取り入れながら、(仮称)流山市こども計画を策定します。			

子どもを産み育てやすい環境づくり

妊娠・出産・子育てサポート事業	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援プランをもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、支援を行います。各種事業を実施することで、子育ての負担感や孤立感からの不安解消を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	健康増進課	257,354		226,871		35,260	230,459	8,133	222,326
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	母子健康手帳交付時面談実施率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93.40	93.44	95.00
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		76.43	79.46	82.00	
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 身近な相談先である保健センターと南流山センター内の子育てなんでも相談室が、支援を必要とする方への対応が早急にできるよう、関係機関とも連携し更なる支援体制の強化を図りました。				・現状 妊産婦が支援を要する要因は、産前産後のサポート不足や、周囲に知り合いのいない孤立感、初めての育児に対する不安感など様々であることから、母子健康手帳交付時の面談や電話相談、妊娠7・8か月アンケート後の電話や面談で個々の妊産婦の状況を把握し、支援の必要な妊産婦に対して支援を行っています。					
・評価 様々な社会資源を必要とする妊産婦に対しては、関係機関と連携し必要な時期に必要な支援を行うことができました。				・課題 妊産婦の個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援を行う必要があります。					
・課題に対する改善点 妊産婦は様々な要因により支援を要していることから、個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援を行いました。				・取組 産後ケア事業の対象者を拡充する等の支援の強化を図ります。また、妊産婦に対し、各種の社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携し、個々の状況に応じた支援を行います。					

子どもを産み育てやすい環境づくり

出産・子育て応援給付金事業（子ども家庭課）	令和4年度第2次補正予算の閣議決定により、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行うことを目的とした「出産・子育て応援交付金」が創設されたことに伴い、妊婦等に対し、合計10万円相当の経済的支援を行います。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	子ども家庭課	305,650		463,479		14,104	281,453	234,541	46,912
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	出産・子育て応援給付金扶助費の額（千円）	1,450	417,400	240,000	子育て支援サービスにより、子育ての不安や負担が軽減されていると感じる者の割合（％）		65.2	57.4	65.5
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 妊娠・出産の届出をし、面談された方に対して、それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金を適正かつ迅速に支給しました。				・現状 本年度以降も引き続き、適正かつ迅速な出産・子育て応援給付金の支給に努めます。					
・評価 それぞれ5万円の出産・子育て応援給付金について、関係各課と連携を図り、適正かつ迅速な支給が実現できました。				・課題 令和7年度から予定されている制度の恒久化に向けて、予算措置の確保や市民への周知を進めていく必要があります。					
・課題に対する改善点 健康福祉部と役割分担をして事業を進め、実績報告についても分担して行うことができました。今後もより円滑な給付に向けて、関係各課等と密に連携を図りながら事業を進めていく必要があります。				・取組 適正な予算編成に取り組むとともに、広報・ホームページを通じて市民への周知を進めます。					

子どもを産み育てやすい環境づくり

出産・子育て応援給付金事業（健康増進課）	全ての妊婦や子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備を目的に、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	健康増進課	16,459		11,574	35,260	18,284	13,708	4,576
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	母子健康手帳交付時面談実施率（％）	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合（％）	93.40	93.44	95.00
妊娠7・8か月時アンケート回収率（％）	56.93	84.65	85.00					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 新たに開始した、妊娠7・8か月アンケートにより、出産前から支援の必要な方を把握し、早期に介入することで、安心して出産・子育てができるよう支援しました。				・現状 母子健康手帳交付時や出産後の訪問時に面談を実施し、経済的支援に関する申請書を配布しています。また、妊娠7・8か月時にアンケートを送付し、アンケートの回答内容で心配事や困り事の記載をされた方に対し、電話や面談を行い支援しています。				
・評価 妊娠7・8か月アンケートにより、出産予定日の近づいた妊婦の状況を把握することができました。その中でも支援を要する方には、産後ケア事業や育児支援等サービス事業等を早期に案内することができました。				・課題 妊娠期から出産・子育て期まで一貫して妊産婦の個々の状況やニーズを把握しながら相談に応じ、必要な支援につなげる必要があります。				
・課題に対する改善点 母子健康手帳交付時の面談や妊娠7・8か月アンケート、出産後の訪問時の面談を通して妊産婦の個々の状況やニーズを把握し、支援を行いました。				・取組 妊娠7・8か月アンケートにより、出産前から支援の必要な方を把握し、早期に介入することで、安心して出産・子育てができるよう妊娠期だけではなく、出産後も継続的に支援をしています。				

保育サービスの充実

送迎保育ステーション事業		流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。									
		担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
		保育課	96, 212		98, 032		3, 526		99, 010	50, 189	48, 821
		主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
		送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	2	延べ利用数(人)		14, 571	16, 824	17, 000
送迎バスの台数(台)		8	7	7	待機児童数(人) ※翌年度4月1日時点		-	-	-		
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み						
・取組 流山おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担を軽減しました。					・現状 待機児童がゼロの状況を維持しておりますが、本事業が無ければ保育施設への通所が難しい児童は存在しているため、引き続き事業が必要です。						
・評価 本事業の実施により、増え続ける保育需要に対応するとともに保護者の送迎における負担軽減を図りました。					・課題 引き続き安全・安心な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減が課題となります。						
・課題に対する改善点 待機児童がゼロの状況となっているものの、継続した利用が見込まれるため、安全・安心な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減に努めました。					・取組 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。						

保育サービスの充実

病児保育事業	保育所等に通所中の児童が、病氣中・病氣回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	保育課	65, 257		65, 315		2, 116	67, 723	27, 994	39, 729
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	病児及び病後児保育実施園数(園)	3	3	3	延べ利用者人数(人)		173	531	600
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度から行っていた利用制限を解除し、より多くの方が利用できるよう取り組みました。					・現状 令和3年度から行っていた利用制限を令和5年度に解除し、従前と同等の条件で受け入れ可能となったことで、制度の概要や利用方法等詳細についての問い合わせが増加しています。				
・評価 利用児童数が前年度比約3倍に増加し、過去最高を更新しました。今後に関しても利用しやすいよう調整し、より多くの方が利用できるような環境づくりに努めました。					・課題 令和5年度のアンケートの際は、約20%の方が制度そのものを認知していない状況であり、周知方法について改善の余地があると考えられます。				
・課題に対する改善点 令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法における分類が第5類へ引き下げされたことに伴い、預かり対象拡大について検討を行いました。					・取組 ホームページ、SNS、紙媒体等、それぞれの特性を踏まえながら、制度の周知について改善を図ります。				

保育サービスの充実

保育所改修事業		老朽化している公立保育所5施設の長寿命化と入所児童や職員が安全かつ快適に保育できるよう施設改修を実施します。													
		担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算		R6特定財源		R6一般財源	
		保育課		26,000		25,531		706		19,000		0		19,000	
		主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標				R4実績	R5実績	R6目標		
		改修箇所数(箇所)		2	2	2	公立保育所利用者数(人)※4月1日時点				503		551		600
令和5年度の取組みと評価・改善点							令和6年度の現状・課題・取組み								
・取組 老朽化した空調機の更新工事について、計画通り入札を執行しました。							・現状 保育施設の老朽化が進んでいます。								
・評価 中野久木保育所及び江戸川台保育所で、安全かつ快適な保育が出来る環境整備が図られました。							・課題 児童が安全安心な環境下で保育を受けられるよう施設改修を行う必要があります。								
・課題に対する改善点 早期に更新工事が完了できるよう、事業者や保育所との調整を行いました。							・取組 老朽化した空調機について、引き続き計画に沿って更新していきます。								

保育サービスの充実

私立保育所等運営補助事業	保育士の確保や保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	保育課	2,537,445		2,534,079		14,104	2,719,521	707,140	2,012,381
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	補助施設数(件)	96	96	98	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	-	-
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 保育所等と連携し、送迎用バスに安全装置を速やかに設置できるようにしました。					・現状 重度障害児や医療的ケア児の保育所等への受入れ促進を図ります。				
・評価 安全装置の設置が完了しました。					・課題 重度障害児や医療的ケア児の受入れに当たり、施設や備品等の整備をする必要があります。				
・課題に対する改善点 令和5年度から送迎用バスに安全装置の設置が義務付けされたため、送迎バスを利用している保育所等に補助金を交付し、安全装置の設置の促進を図りました。					・取組 新たに要配慮児童受入促進事業を新設し、保育所等の運営を補助します。				

保育サービスの充実

私立保育所整備補助事業	保育所の受入児童数の増加等を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	保育課	828,426		689,996		10,578	507,179	303,142	204,037
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	整備箇所数(か所)	2	3	-	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		-	-	-
整備により増加した定員数(人)	135	138	-						
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めました。				・現状 必要に応じて、質の高い保育を提供する認可保育所(法人)、多様な保育ニーズに対応出来る認可保育所(法人)の整備に努めます。					
・評価 新規の認可保育所2か所(定員106人増)、既存施設1か所増築(定員32人増)の整備を行い、待機児童がゼロになりました。				・課題 安全な保育を提供するために、施設が老朽化した認可保育所等の整備を行う必要があります。					
・課題に対する改善点 令和5年度も引き続き、待機児童をゼロにすることが課題であり、認可保育所等を整備した結果、待機児童ゼロになりました。				・取組 認可保育所等(法人)と十分に協議をし、遅延することなく、保育所の整備を進めていきます。					

学童クラブの充実

学童保育運営事業	就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	教育総務課	189,889		172,952		18,067	214,609	123,785	90,824
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	研修開催件数(件)	2	2	2	放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		50,983	69,775	77,255
				学童クラブの延べ利用人数(人)		33,638	39,025	42,927	
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 支援員や補助員に対する研修の実施や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に努めました。					・現状 学童クラブの利用者数が増えており、利用者のニーズも多様化しています。併せて、支援員の数も増えています。				
・評価 アレルギー研修及び保護者とのコミュニケーションについて研修を行い、各法人のスキルアップを図りました。また、支援員や補助員に対する処遇改善を行うことができました。					・課題 学童クラブ利用者の多様化するニーズに応えることや、新しい支援員に対する研修等のアプローチが必要です。				
・課題に対する改善点 学童クラブ利用者からのアンケート結果を踏まえたテーマで、支援員等に対する研修を実施しました。また、支援員の安定的な確保に資するため、継続して処遇改善を行いました。					・取組 法人が抱えている課題をヒアリングし、必要な研修を行います。また、引き続き処遇改善を実施します。				

学童クラブの充実								
学童クラブ施設整備事業		児童数の増加に対応するため、学童クラブの施設整備を行います。また、東小学校区学童クラブの排水施設整備工事を行います。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	496,387		474,613		7,052	30,403	8,176	22,227
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,240	3,748	3,748	待機児童数(3月末)(人)		-	-	-
学童クラブの整備後の施設数(施設)	37	39	39					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 各種工事を遅滞なく終わらせるとともに、学童クラブに必要な備品等を整備し、令和6年度の開所を迎えられるよう整備を進めました。				・現状 荒天時に水がたまりやすい箇所があることから、東小学校区学童クラブにおいて排水施設の整備が必要な状態です。				
・評価 市野谷小学校区学童クラブと南流山第二小学校区学童クラブを令和6年4月1日より開設することができました。				・課題 学童クラブの運営に支障がないように、東小学校区学童クラブにおける排水施設の整備工事を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 学校施設と同時に整備することから、関係機関と調整をとり、計画的に進めていくことが課題であり、そのため関係者との協議を繰り返し行い情報共有を図った結果、予定どおり整備することができました。				・取組 東小学校区学童クラブ排水施設整備工事を実施します。				
養育環境への配慮								
ひとり親家庭等生活向上事業		子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大しています。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
子ども家庭課	57,086		54,016		10,578	60,086	45,064	15,022
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
利用者数(人)	122	120	140	学習の習慣がついたと回答した児童の割合(%)		58.60	52.17	80.00
協力塾数(件)	64	67	70	希望通りの高校に進学できたと回答した児童の割合(%)		82.80	60.87	90.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 報告書等の簡素化を目指すとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けました。				・現状 子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校2年生及び中学校3年生の子どもが学習塾に通えるよう支援します。令和4年度からは、夏期期間及び冬期期間についても、追加で支援しています。				
・評価 市内学習塾に対し、当該事業への協力を積極的に呼び掛けるとともに、当該事業の理解促進に努めました。				・課題 利用できる子どもを増やすために、協力塾を増やす必要があります。				
・課題に対する改善点 電子メールによる報告書等の提出や、手続等の簡素化について周知し、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けた結果、協力塾が増加しました。				・取組 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けていきます。				
養育環境への配慮								
要保護児童対策事業		要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
子ども家庭課	10,589		9,774		84,624	12,127	3,856	8,271
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
安全確認件数(%)	99	99	99	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		91	100	91
研修開催回数(回)	2	2	2					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行いました。				・現状 児童虐待の相談対応件数は、引き続き増加傾向にあります。地域や関係機関において、児童虐待の早期発見に関する認識は高まっています。				
・評価 専門職を増員配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、関係機関との情報共有・連携や研修会・個別支援会議を開催しました。				・課題 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応し子どもの権利を守るとともに、家庭のニーズに即した支援を提供する必要があります。				
・課題に対する改善点 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応するため、対応する職員を増員し相談体制の強化を図りました。				・取組 子どもや保護者の様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図ります。地域での子どもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等を行います。				

青少年の健全育成の促進							
青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話及び相談室での相談を充実します。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源
文化芸術・生涯学習課	5,411		5,427		0	6,546	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績
相談件数(件)	55	61	-				
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み			
・取組				・現状			
広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めました。				平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設しています。これに加え、令和4年度は休日に6回、令和5年度は平日の時間外に6回、特別相談窓口を開設しましたが、相談件数に大幅な増減はありませんでした。			
・評価				・課題			
平日の時間外に6回、特別相談窓口を開設しましたが、相談件数には結び付きませんでした。				より多くの市民に利用していただけるよう、相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、相談内容に応じた窓口を適切に案内できるよう、青少年専門相談員の相談力を向上させる必要があります。			
・課題に対する改善点				・取組			
相談室だよりを年4回発行し、市内小・中・高等学校や公民館、図書館等へ配布し、相談室の周知を図りました。また、相談内容に応じて適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関の情報収集に努めました。				スキットメールの活用やポスターを作成し、相談室の周知に努めます。また、県や関連機関が開催する研修会へ積極的に参加し、青少年専門相談員の相談力の向上に努めます。			

主管部局 学校教育部

施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R3実績	R4実績	R5実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	71.0 64.0	67.0 58.3	68.0 60.3	%	全国平均、 県平均を 上回る
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	12,356 4,750	12,979 4,915	13,512 5,121	人	-
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）※小学校、中学校	5,765 594	4,954 475	4,427 407	件	↓

令和5年度の取組みと評価・改善点	令和6年度の現状・課題・取組み
・取組内容 「いじめ認知アンケート」の実施等を通じて、いじめの積極的な認知を図るとともに、小学校・中学校でいじめについての特別授業及び教員研修を行い、いじめの未然防止に努めました。全国学力・学習状況調査については、教務主任・研究主任を対象に分析や活用に関する研修会を開催し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善につなげました。	・現状 児童生徒数の増加といじめの積極的な認知に伴い、近年のいじめ件数は、以前に比べ高い水準にあります。全国学力・学習状況調査の平均正答率は小学校、中学校ともに市の平均が全国を上回っていますが、記述式における無解答率を改善するための、授業改善につなげます。
・評価 いじめをはじめ、児童生徒が抱える多様な課題に対して適切に対応するため、引き続きスクールロイヤー等の専門性の高い人材を活用しながら、児童生徒、保護者、学校への支援体制の強化に努めました。教務主任・研究主任研修を通して、流山市としての課題を確認して授業改善につなげました。	・課題 いじめの早期発見・早期解決・未然防止のため、学校現場において積極的にいじめ認知を行い、適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。全国学力・学習状況調査については、算数の記述式において無解答率の高い問題があることが課題であるため、継続して分析をしていきます。
・改善点 いじめは重大化・深刻化しないよう、早期発見・早期対応が肝要であることから、小さなトラブルでもいじめの根源と考え、積極的に認知を行うとともに、被害児童生徒及びその保護者に寄り添った対応を心掛け、トラブル解消に努めました。全国学力・学習状況調査については、記述式における無解答率が高いことが課題であるため、無解答率や誤答率の高い問題に着目して分析を行いました。	・取組内容 いじめ事案が重大化・深刻化しないよう、学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、スクールロイヤー等の専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。教務主任・研究主任研修だけでなく、教師力アップ講座などの若手研修を通して、授業改善に取り組んでいきます。

確かな学力の育成

小中学校外国語教育推進事業		小中学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。小学3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。中学校には、全10中学校に1名ずつALTを配置します。（令和6年度から小中学校の同事業を統合し、「小中学校外国語教育推進事業」としました。令和5年度までは、「小学校英語活動推進事業」の実績が記載されています。）						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
指導課	65,415		65,415		7,052	108,406	0	108,406
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
小中学校ALT配置数（人）	10	10	20	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるALT等の活用状況（％）		98	98	78
英語活動指導員の指導時間の合計（時間）	11,760	11,620	12,635					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 授業参観や研修会をとおして、ALT等を活用した英語を聞く、話す活動の充実及び、授業における指導と評価の一体化に取り組みました。				・現状 小学校では、英語指導員スーパーバイザーを活用し、市内統一した形でのチームティーチングの授業の型ができつつあります。中学校では、ALTとのコミュニケーションを通じて異文化理解を深めるなど、効果的な活用が図られています。				
・評価 小学校では、英語指導員スーパーバイザーの授業参観等をおとして、市内統一した授業の型ができつつあり、活動が充実してきました。中学校では、ALT個々を生かしながら、生きたコミュニケーションを通じて聞く、話す力を伸ばしました。				・課題 小学校では、ALT等と連携しながら、学習のねらいに即した授業づくりを行うことが課題です。中学校では、ALTの効果的な活用を図るとともに、小中連携の視点を持ち、質の高い授業づくりを行うことが課題です。				
・課題に対する改善点 学習課題に対する適切な活動の設定と評価についての理解が深まりました。				・取組 授業参観や研修会を通じて、ALT等の効果的な活用を図りながら、学習のねらいに即した質の高い授業づくりに取り組んでいきます。				

確かな学力の育成

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
指導課	27,609		27,609		7,052	33,662	0	33,662
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.5	1.5	1.2	小学校図書館貸出冊数(R6.3月)(冊)		350,000	320,000	320,000
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しました。探究的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入しました。				・現状 学校図書館司書の増員や、図書の充実を図ることにより、充実した学校図書館教育を目指しています。				
・評価 インターネット百科事典が導入され、各教科で探究的な学習の一助として活用されました。また、学校図書館司書の日常の取組や、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。				・課題 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。				・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。				

確かな学力の育成

中学校A L T 配置事業	外国語指導助手（ALT）を全小中学校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	41,256		41,256		7,052	0	0	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	中学校ALT配置数（人）	9	10	-	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるALT等の活用状況（％）		62	62	-
令和5年度 の取組みと評価・改善点					令和6年度 の現状・課題・取組み				
・取組 外国語指導助手（ALT）を全小中学校に配置し、幅広い外国語教育の推進を目指しました。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図るとともに、英語を聞く、話すという取り組みを強化しました。					・現状 本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。				
・評価 全小中学校に配置されたALTが、外国語の授業だけでなく、学校生活のなかでの児童生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を促すことができました。					・課題 本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。				
・課題に対する改善点 英語を活用するという視点において、目的・場面・状況の設定をすること、ICTの活用のタイミング、またその評価について理解を深めました。					・取組 本事業は令和6年度から小中学校外国語教育推進事業に集約されました。				

確かな学力の育成

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探求的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。							
	担当課	R5当初予算		R5決算見込	R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	17,741		17,741	7,052	19,977	0	19,977
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標
	学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数） (校)	1.7	1.5	1.4	中学校図書館貸出冊数（R6.3月）（冊）	31,000	35,000	35,000
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しました。探求的な学習を推進するため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入しました。				・現状 学校図書館司書を増員し、より充実した学校図書館教育を目指しています。システムの更新に伴い、生徒がよりスムーズに本の検索ができるように環境を整えます。				
・評価 インターネット百科事典が導入され、各教科で探求的な学習の一助として活用されました。また、学校図書館司書の日常の取組や、R1グランプリ等の実施により、1人当たりの貸出冊数が増加しました。				・課題 さらなる読書推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図る必要があります。				
・課題に対する改善点 さらなる読書推進や探求的な学習の実現を目指し、図書の充実、学校図書館司書の増員を図りました。				・取組 図書の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指します。				

確かな学力の育成

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校（小学校2校または1校、中学校1校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	8,283		8,283		14,104	9,534	6,050	3,484
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	市内各中学校区本部設置数（校）	9	10	10	地域による学校支援年間参加延べ人数（1月まで）（人）		51,705	58,550	65,000
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 学校へのヒアリングやコーディネーター研修会等を通して、各校の実態を把握することで、さらなる改善に努めました。					・現状 コミュニティ・スクールの全10中学校への導入完了に向けて、準備を進めています。				
・評価 学校支援コーディネーターの尽力により、地域の人材を積極的に活用したことで、学校や子どもたちのニーズに合った支援を行いました。					・課題 学校運営協議会において、学校の実情や地域の特色を生かした熟議というところまで進んでいないことが課題です。				
・課題に対する改善点 地域によって、人材不足等の課題があるため、地域の特色にあった人材をより広い視野で確保することに努めました。					・取組 学校や地域の実態を把握している学校運営協議会委員を任命することで、地域の特色を生かした実現可能な取り組みへの協議を実施します。				

確かな学力の育成

学校水泳指導等支援事業	児童の体育の授業における水泳指導について、業務委託することによりプール施設、指導業務、移動手段を確保し、円滑な水泳指導に資することを目的として実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	22,470		22,021		7,052	47,123	0	47,123
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	民間委託実施校数(校)	1	7	13	一人当たりの実施回数(回)		3	3	3
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 学校施設課と連携し、できる限り学校から近い場所で実施可能な委託業者を増加させました。				・現状 今年度は、新たに6校を追加して、計13校で実施する予定です。					
・評価 児童からは、水泳授業がより充実した内容であったと高い評価を受け、教職員からは、施設管理面の運営負担が軽減されたと、業務改善の一助となりました。				・課題 各学校からより近い委託業者を開拓するなどして、移動時間の短縮を図る必要があると考えます。					
・課題に対する改善点 令和6年度以降の事業拡大を見据えて、より多くの委託業者の開拓を行いました。				・取組 天候に左右されず実施でき、インストラクターの専門的な指導を受けられるという民間委託のメリットを活用し、子どもたちの充実した学習につなげていきます。					

教育環境の整備

I C T学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	490,354		490,354		14,104	409,710	16,545	393,165
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標	R4実績	R5実績	R6目標	
	市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	17,995	18,471	19,194	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)(人)	1	1	1	
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 ICT教育推進リーダーの育成を図るため、計画的に研修会を実施しました。各研修会において、ICT機器の効果的な活用事例を紹介し、活用促進に努めました。					・現状 ICT教育推進リーダーの育成に引き続き取り組む必要があります。他地域や各学校での効果的な活用について情報発信に努め、活用促進を図る必要があります。				
・評価 研修の機会を設定し、各校でICT教育推進の中心となる人材の育成に努めた結果、市で導入している学習支援ソフトの活用率が向上しました。					・課題 職員により、ICT活用に差がある実情を打破することが課題です。				
・課題に対する改善点 全体のICT活用率は向上しましたが、職員により差があるため、活用する側のニーズ把握に努めました。プログラミング教育については、事例を蓄積し流山独自のカリキュラムを作成中です。					・取組 研修を実施する際、研修内容について工夫します。例えば、初級・中級・上級等の活用レベル別や教科別等、活用する側のニーズにあった研修を実施していきます。ICT機器環境の整備についても、ニーズにあった内容を計画的に整備していけるよう努めます。				

教育環境の整備

小学校校舎等改修事業	小学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	学校施設課	107,559		845,275		21,156	14,515	14,515	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	ロッカー改修を要する教室数(室)	-	304	262	ロッカー改修教室数(室)		-	42	36
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 学校運営に支障の無いよう、発注者、施工者及び学校との各種調整を適宜に実施しました。				・現状 教室ロッカーの改修は児童不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。					
・評価 屋内運動場への空調機設置やエレベーター増設の補正予算事業も遅滞なく完了できました。				・課題 改修を要するロッカーの全てを早期に完了させる必要があります。					
・課題に対する改善点 安全を確保しながら工程内で工事を完了させるよう、学校の理解と協力を得て進めることができました。				・取組 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。					

教育環境の整備										
中学校校舎等改修事業		中学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課		99,969		668,446		10,578		0	0	0
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
東深井中学校エレベーター 設計(%)		30	100	-	エレベーター整備台数(基)			-	1	-
東深井中学校エレベーター 増築工事(%)		-	100	-						
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 学校運営に支障の無いよう、発注者、施工者及び学校との各種調整を適宜に実施しました。					・現状 西初石中学校の外壁及び屋上防水機能が劣化しています。					
・評価 エレベーター増築工事を完了させ、令和6年度から供用開始することができました。					・課題 早急に対応する必要があります。					
・課題に対する改善点 安全を確保しながら工程内で工事を完了させるよう、学校の理解と協力を得て進めることができました。					・取組 国庫補助を活用し、令和6年度予算を令和5年度に前倒し、西初石中学校の外壁及び屋上防水機能の劣化について改修を図ります。					

教育環境の整備										
給食室等改修事業		学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している箇所を改修し、調理環境の向上を図ります。								
担当課		R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)		R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課		24,221		42,479		10,578		0	0	0
主な活動指標		R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標			R4実績	R5実績	R6目標
給食室への空調設備設置学校数		10	-	-	長崎小学校給食室建替え工事の進捗率(%)			100	-	-
					給食室への空調設備整備率(%)			100	-	-
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 発注者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施しました。					・現状 流山小学校、東小学校、西深井小学校、北部中学校の給食施設の外壁及び屋上防水機能が劣化しています。					
・評価 各工事において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より供用開始することができました。					・課題 食品へ雨水が混入する危険や、漏電による機器故障などの恐れがあるため、早急に対応する必要があります。					
・課題に対する改善点 給食室の運営に支障がないよう、工事を進めることができました。					・取組 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めます。なお、令和6年度実施予定事業の全予算を令和5年度に前倒したため、令和6年度の当初予算額は0円となっております。					

教育環境の整備									
おおぐろの森小学校校舎増築事業	児童数の増加傾向にある「おおぐろの森小学校」について、令和9年度から増築棟の供用開始を目指します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与と費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	学校施設課	0		0		0	47,740	47,740	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
					設計業務の進捗率(%)		-	-	30
				工事の進捗率(%)		-	-	-	
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・現状 児童数が増加しており、現状の校舎では教室数不足が見込まれるため、対策が必要です。				
・評価 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・課題 増築校舎の規模や構造などを検討し、設計を進める必要があります。				
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施がありませんでした。					・取組 諸条件を整理し、増築校舎の設計を進めます。				

教育環境の整備

新設小学校（おおたかの森地区）建設事業	おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月に「市野谷小学校」を開校しました。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	3,730,076		4,024,185		24,682	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				設計業務の進捗率（％）		100.0	-	-
				工事の進捗率（％）		11.5	100.0	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行いました。				・現状 令和5年度で事業は終了しました。				
・評価 安全を優先として工程管理を行い、令和6年4月の開校に至りました。				・課題 令和5年度で事業は終了しました。				
・課題に対する改善点 遅滞なく開校に至りました。				・取組 令和5年度で事業は終了しました。				

教育環境の整備

南流山中学校移転事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、東洋学園大学旧校舎を改修して、令和6年4月から南流山中学校を移転開校しました。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	2,788,758		3,034,978		30,610	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				設計業務の進捗率（％）		100	-	-
				工事の進捗率（％）		2	100	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 工事請負者と連絡調整を遅滞なく行い、工程管理を行いました。				・現状 令和5年度で事業は終了しました。				
・評価 安全を優先して工程管理を行い、令和6年4月に移転開校できました。				・課題 令和5年度で事業は終了しました。				
・課題に対する改善点 遅滞なく令和6年4月の移転開校に至りました。				・取組 令和5年度で事業は終了しました。				

教育環境の整備

南流山第二小学校改修事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を小学校仕様へと改修して、令和6年4月から南流山第二小学校として開校しましたが、体育館のみ、中学生の活動に配慮して令和6年の夏休み期間中に改修するものです。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	145,953		319,722		21,156	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				設計業務の進捗率（％）		100	-	-
				改修工事の進捗率（％）		-	90	100
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 作業エリアには遮音性のある仮間仕切りを設置し、生徒・教職員と工事関係者が交錯しないよう努めました。				・現状 令和6年4月から南流山第二小学校は開校しましたが、南流山中学校の学校運営を優先し、体育館の工事が未着手のままとっています。				
・評価 安全を優先して工程管理を行い、令和6年4月に開校できました。				・課題 バスケットゴールやステージ舞台機構の改修工事を行う必要があります。				
・課題に対する改善点 令和5年度は、中学校を運営しながらの施工となるため、生徒・教職員の安全確保が課題でしたが、学校現場の理解を得て十分な作業区域を確保できました。				・取組 改修にかかる予算は令和5年度に前倒して、学校運営に支障のないよう、夏休みを中心に工事を行います。				

教育環境の整備								
担任サポート教員配置事業	学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校教育課	27,571		28,272		706	30,577	0	30,577
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
担任サポート教員配置数(人)	12	9	9					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めました。				・現状 令和6年度は小山小学校5年生8学級に配置します。				
・評価 適正な配置人数である9名を確保しました。				・課題 児童生徒数推計値の学級数に対応する人員配置を行い、令和7年度までに施設整備を進め、国の学級基準の35人学級を実施していきます。				
・課題に対する改善点 小山小学校における35人学級計画整備として、令和5年度は特別支援6学級を3教室で運用、増設等に3教室増設、学童と教室の共有(2教室)を実施しました。				・取組 児童生徒数推計及び想定値から各学校の1学級あたりの児童・生徒数を見定め、適正な人員配置に努めます。				

教育環境の整備								
南流山中学校移転先用地・建物買取事業	南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	901,727		1,321,726		3,526	254,813	249,608	5,205
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				用地取得率(%)		-	-	12.5
				建物取得率(%)		59.0	100.0	-
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 支払処理に遅滞のないよう、財産活用課と情報を共有しました。				・現状 建物分は令和5年度に取得を終え、令和6年度からは用地費の支払いが発生します。				
・評価 遅延なく処理を行いました。				・課題 遅延のないよう処理します。				
・課題に対する改善点 財産活用課との情報共有は問題ありませんでした。				・取組 財産活用課と情報を共有して執行します。				

教育環境の整備								
常盤松中学校校舎増築事業	生徒数の増加傾向にある「常盤松中学校」について、令和8年度から増築棟の供用開始を目指します。							
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	0		0		0	170,403	170,403	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				設計業務の進捗率(%)		-	-	100
				工事の進捗率(%)		-	-	12
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年度は事業の実施がありませんでしたが、令和6年度実施予定事業費の一部を令和5年度に予算を前倒ししました。				・現状 生徒数が増加しており、現状の校舎では教室数不足が見込まれるため、対策が必要です。				
・評価 令和5年度は事業の実施がありませんでしたが、令和6年度実施予定事業費の一部を令和5年度に予算を前倒ししました。				・課題 増築校舎の規模や構造、仕様等を検討する必要があります。				
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施がありませんでしたが、令和6年度実施予定事業費の一部を令和5年度に予算を前倒ししました。				・取組 増築校舎の諸条件を整理し、効率よく設計します。				

教育環境の整備								
南流山第二小学校整備事業		令和6年4月開校の南流山第二小学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	23,373		23,330		4,232	3,200	3,200	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合(%)		-	89.71	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年4月、南流山地区に新規開校する南流山第二小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。				・現状 南流山第二小学校が開校する前年度に、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、開校後にも学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。				
・評価 南流山第二小学校の開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。				・課題 南流山第二小学校の開校後、年間の学校活動を通して必要となる消耗品を整備し、教育環境のさらなる充実に努める必要があります。				
・課題に対する改善点 必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。				・取組 学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。				

教育環境の整備								
市野谷小学校整備事業		令和6年4月開校の市野谷小学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	23,261		23,126		4,232	2,650	2,650	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合(%)		-	89.71	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年4月、おおたかの森地区に新規開校する市野谷小学校の開校時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。				・現状 市野谷小学校が開校する前年度に、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行ったが、開校後にも学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。				
・評価 市野谷小学校の開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。				・課題 市野谷小学校の開校後、年間の学校活動を通して必要となる消耗品を整備し、教育環境のさらなる充実に努める必要があります。				
・課題に対する改善点 必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。				・取組 学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。				

教育環境の整備								
南流山中学校移転整備事業		令和6年4月、東洋学園大旧校舎に移転開校する南流山中学校の開校前と開校後に必要な事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	18,119		18,019		4,232	3,200	3,200	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
入札件数(件)	-	8	-	消耗品の充実割合(%)		-	84.19	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和6年4月、東洋学園大学旧校舎に移転開校する南流山中学校の供用開始時までに、事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行いました。				・現状 南流山中学校が移転開校する前年度に、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行ったが、開校後にも学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行います。				
・評価 南流山中学校の移転開校に当たり、必要となる事務用消耗品、教科用消耗品等の整備を行い、教育環境の充実を図ることができました。				・課題 南流山中学校の移転開校後、年間の学校活動を通して必要となる消耗品を整備し、教育環境のさらなる充実に努める必要があります。				
・課題に対する改善点 必要な事務用消耗品、教科用消耗品等を計画的に調達し、開校前までに教育環境を整備しました。				・取組 学校と連携を図りつつ、学校教育活動を行うなかで必要となった事務用消耗品、教科用消耗品等の計画的な整備を行います。				

教育環境の整備

小学校校舎等リニューアル事業		老朽化の進んだ小学校をリニューアルすることで、建て替えることなく供用を継続するものです。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校施設課	37,983		0		7,052	0	0	0
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
				設計業務の進捗率(%)		-	50	100
				江戸川台小学校リニューアルの進捗率(%)		-	-	30
令和5年度の実績と評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組				・現状				
現況調査を実施し、改修内容の検討を行いました。				夏休みを中心に改修工事に着手します。				
・評価				・課題				
改修設計を進め、工事の発注を行いました。				児童・教職員の安全を優先して工事を行う必要があります。				
・課題に対する改善点				・取組				
改修が必要な部位や設備等の整理を進めました。				居ながら改修工事となるため、夏休みを中心とした工事となり、きめ細かく工程管理を行います。なお、国庫補助を活用し、令和6年度予算を令和5年度に前倒しして実施しています。				

教育環境の整備

小学校施設管理業務委託事業		これまで市が雇用する用務員が担ってきた小学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	0		0		0	4,046	0	4,046
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学校用務員派遣(学校数)	-	-	2	学校用務員派遣(用務員人工数)		-	-	2
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 令和6年4月、市野谷小学校及び南流山第二小学校において、学校施設管理業務を業務委託し、実施します。				
・評価 令和5年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討します。				
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施がありませんでした。				・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めていきます。				

教育環境の整備

中学校施設管理業務委託事業		これまで市が雇用する用務員が担ってきた中学校における学校施設管理業務を業務委託し、実施することで安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
教育総務課	0		0		0	6,068	0	6,068
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
学校用務員派遣(学校数)	-	-	1	学校用務員派遣(用務員人工数)		-	-	2
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 令和5年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 令和6年4月に移転開校した南流山中学校において、学校施設管理業務を業務委託し、実施します。				
・評価 令和5年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 学校への委託導入の効果について検証を行うとともに、委託先の人員確保が可能かどうかなどを含め、他学校への拡充を検討します。				
・課題に対する改善点 令和5年度は事業の実施がありませんでした。				・取組 安定的な人員及び質の確保と直接任用に係る人件費及び事務量の軽減を図り、さらなる教育環境の充実に向けた検討を進めていきます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進

小中学生専用なやみホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	8,173		7,880		4,232	7,211	0	7,211
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	「小中学生専用なやみホットライン」の相談数(件)	17	15	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		90.90	89.76	100.00
	「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	52	62	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		95.60	92.38	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 小中学生専用なやみホットライン周知のため、連絡先が記載されたカードとリーフレットを市内全小中学生に配付するとともに、中学生への相談アプリを提供し、悩みの早期発見と早期対応に努めました。				・現状 生涯学習センター内に相談員が常駐し、相談を受けています。いじめの相談だけでなく、子どもたちが抱える多様な悩みや想いを受け止め、必要な支援に繋がるよう対応しています。					
・評価 児童生徒が抱える不安や悩み、困りごとは多様化しており、「誰にも相談できない」「誰に相談したらいいかわからない」ことも少なくないと捉えています。また、匿名での相談も少なくないことから、こうした子どもたちが迷わず、安心して相談できるような相談体制の構築に努めていく必要があります。				・課題 悩みや困りごとを抱える児童生徒の早期発見・早期対応に向け、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるとともに、適切な支援に繋がるよう関係部局・関係機関との連携を一層強化していく必要があります。					
・課題に対する改善点 子どもたちが迷わず、安心して相談できるよう、相談窓口の周知に努めるとともに、相談を受けた際には、思い切った相談をしてきた児童生徒が、自身の想いを吐き出せるよう、まずは傾聴に努めるとともに、相談内容に応じて、適切な支援に繋げるよう努めました。				・取組 令和6年度も引き続き、ポスターやリーフレット等を作成し子どもたちの周知に努め、幅広く相談を受け止めるとともに、教育委員会内の各専門職の知見を活かしながら子どもたちが抱える悩みや困りごとの解決に向け支援していきます。					

児童・生徒の安全確保と健康増進

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにWEBQU（学級集団アセスメント）検査を実施します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	指導課	30,763		34,048		8,463	32,773	0	32,773
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	小学校いじめ認知件数（件）	4,954	4,427	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（％）		90.90	89.76	100.00
	中学校いじめ認知件数（件）	475	407	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果（解消件数÷認知件数）（％）		95.60	92.38	100.00
令和5年度の取組みと評価・改善点					令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組					・現状				
一人一台端末を活用した心の天気やWEBQU等を通じて児童生徒の状況把握に努めました。また、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導アドバイザーといった専門性の高い人材を配置し、関係機関と連携しながら、多様な課題を抱える児童生徒の支援体制構築に努めました。					児童生徒数の増加といじめの積極的な認知に伴い、近年のいじめ認知件数は、以前に比べ高い水準にあります。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめ等の事案に対して、学校現場において適切な対応を徹底し、早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止に取り組んでいく必要があります。				
・評価					・課題				
スクールロイヤー等による教職員向け研修を通じて、学校現場において、いじめ等の事案を早期に発見し、適切に対応できる体制の推進を図るとともに、事案を認知した場合には、被害児童生徒及びその保護者に寄り添った対応を心掛け、安心して学校生活を送ることができる環境の確保に努めました。					いじめの未然防止、早期発見・早期解決のためには、学校現場における適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。また、いじめ等の事案の背景として、多様な要因が存在することも想定されるため、様々な専門職や関係機関と連携した対応が求められます。				
・課題に対する改善点					・取組				
令和5年度から、児童生徒本人及びその保護者、学校に対して第三者的な立場から助言等を行う生徒指導アドバイザーを1名配置しました。児童生徒が抱える多様な課題に対して適切に対応するため、引き続き専門性の高い人材を活用しながら児童生徒、保護者、学校への支援体制の強化に努めていきます。					いじめをはじめ、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導アドバイザーといった専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進

学校給食公会計化事業		私会計である学校給食費の徴収及び食材料費の支払いについて、市一般会計で取り扱う公会計化をはかり、教職員の負担軽減と、支出の透明性確保を図ります。						
担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
学校教育課	1,012,078		1,069,824		14,104	1,048,957	1,009,281	39,676
主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
収納率(%)	99.22	99.00	100.00					
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み				
・取組 コンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行いました。				・現状 物価高騰の影響により、納付環境は厳しいことからより一層の納付環境整備が求められています。				
・評価 口座振替の啓発・コンビニ納付の運用により、円滑な納付環境整備を図ることができました。				・課題 物価高騰の影響により、適正額の徴収と負担軽減政策等の啓発が課題です。				
・課題に対する改善点 令和5年度の課題は納付環境の整備が課題であり、そのためコンビニエンスストアでの納付を可能とする運用変更を行い、その結果、日中、多忙な保護者等の支払いに係る利便性の向上を図ることができました。				・取組 第3子以降無償化制度や就学支援制度、生活保護制度など様々な制度啓発を併せて取り組みます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため市域を4地区に分け計11人の看護師を配置します。								
	担当課	R5当初予算		R5決算見込		R5職員給与費(目安)	R6当初予算	R6特定財源	R6一般財源
	学校教育課	22,737		19,833		8,463	0	0	0
	主な活動指標	R4実績	R5実績	R6目標(予定)	主な成果指標		R4実績	R5実績	R6目標
	学校サポート看護師人数(人)	10	10	11	医療的ケア児の対応(時間)		1,614	1,847	2,400
医療的ケア児の数	6	6	6						
令和5年度の取組みと評価・改善点				令和6年度の現状・課題・取組み					
・取組 短時間ケアにも対応できるよう環境整備に努め、保護者負担軽減を図りました。				・現状 本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。					
・評価 サポート看護師間の連携を図り、医療的ケア児が安心して学校生活をおくことができ、保護者負担軽減を図ることができました。				・課題 本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。					
・課題に対する改善点 令和5年度も保護者負担が課題であり、様々な悩みを抱えた医療的ケア児について、個々の心身の状況等に応じた適切な支援を受けられるよう教育体制の拡充に努めました。その結果、保護者負担の軽減を図ることができました。				・取組 本事業は、令和5年度末をもって保健体育事務管理事業に統合しました。					